

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 9 月 15 日(2023.9.15)

【公開番号】特開 2023-10914(P2023-10914A)
【公開日】令和 5 年 1 月 20 日(2023.1.20)
【年通号数】公開公報(特許)2023-012
【出願番号】特願 2022-186885(P2022-186885)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 9 月 7 日(2023.9.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

導入部、第 1 流路部、第 2 流路部及び振分部を有し、前記導入部から導入された遊技盤左側の所定領域からの遊技球を、前記振分部によって前記第 1 流路部又は前記第 2 流路部のいずれかに振り分けて流下させ得る流路形成手段を備えた遊技機であって、

前記遊技盤の左側領域に向けて発射された遊技球の入球が可能な第 1 入球手段と、

前記遊技盤の右側領域に向けて発射されて所定の流下経路を流下した遊技球の入球が可能であり、前記第 1 入球手段とは異なる第 2 入球手段と、

前記第 2 流路部を流下した遊技球の入球が可能であって、前記第 1 入球手段及び前記第 2 入球手段とは異なる第 3 入球手段と、

30

前記第 2 流路部を流下する遊技球を検知可能な第 1 の検知手段と、

前記遊技盤の右側領域に設けられ、特定領域を遊技球が流下したことを検知する第 2 の検知手段と、

前記第 2 流路部を流下する所定の遊技球が前記第 2 入球手段へ入球し難く前記第 3 入球手段へ入球することを許容する第 1 状態と、前記第 2 入球手段への入球を許容し前記第 3 入球手段へ入球し難い第 2 状態と、に制御される第 1 可動手段と、

前記遊技盤の右側領域に向けて発射された特定の遊技球が前記第 2 入球手段へ入球することを許容する第 3 状態と、前記第 2 入球手段へ入賞し難い第 4 状態と、に制御される第 2 可動手段と、

40

前記第 1 可動手段及び前記第 2 可動手段を制御する制御手段と、を備え、

前記制御手段は、前記第 1 可動手段と前記第 2 可動手段とを制御することで複数の遊技状態の間で実行する遊技状態を移行させ、

前記複数の遊技状態は、第 1 遊技状態、第 2 遊技状態、第 3 遊技状態を含み、

前記第 1 遊技状態、前記第 2 遊技状態及び前記第 3 遊技状態は、互いに遊技者に有利な遊技球の流下経路が異なり、

前記第 2 遊技状態は、前記第 1 の検知手段によって遊技球の流下が検知された場合に遊技者に有利であり、

前記第 3 遊技状態は、前記第 2 の検知手段によって遊技球の流下が検知された場合に遊技者に有利であり、

50

前記第 1 可動手段と、前記第 2 可動手段は、遊技球が上部を転動可能な転動板部を備え、
前記制御手段は、

前記第 1 遊技状態において遊技者の遊技操作に基づいて前記遊技盤の右側領域に向けた
所定の弾球遊技が実行された場合に、前記第 2 可動手段の前記転動板部の前記上部を遊技
球が転動したとしても、前記転動板部の前記上部を転動した遊技球がその後に前記第 2 入
球手段に入球することがないようにする所定制御手段を備え、

本遊技機は、

前記第 2 可動手段が前記第 3 入球手段の上方に配置されず、

前記第 3 遊技状態において、前記第 2 可動手段が前記第 3 状態から前記第 4 状態に制御
された場合に、前記第 2 可動手段の前記第 3 状態によって前記第 2 入球手段へ誘導途中で
あったが入球することができなかった遊技球がその後に入球可能な第 4 入球手段を備え、

前記第 2 可動手段が前記第 3 入球手段の上方に配置されず、

前記第 3 遊技状態において、前記第 2 可動手段が前記第 3 状態から前記第 4 状態に制御
された場合に、前記第 2 可動手段の前記第 3 状態によって前記第 2 入球手段へ誘導途中で
あった遊技球はその後に入球可能な第 3 入球手段に入球することがないように構成された

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

〔形態〕（本形態は、主に、下記の第 7 実施形態及びその変形例に基づく）

導入部、第 1 流路部、第 2 流路部及び振分部を有し、前記導入部から導入された遊技盤
左側の所定領域からの遊技球を、前記振分部によって前記第 1 流路部又は前記第 2 流路部
のいずれかに振り分けて流下させ得る流路形成手段を備えた遊技機であって、

前記遊技盤の左側領域に向けて発射された遊技球の入球が可能な第 1 入球手段と、

前記遊技盤の右側領域に向けて発射されて所定の流下経路を流下した遊技球の入球が可
能であり、前記第 1 入球手段とは異なる第 2 入球手段と、

前記第 2 流路部を流下した遊技球の入球が可能であって、前記第 1 入球手段及び前記第
2 入球手段とは異なる第 3 入球手段と、

前記第 2 流路部を流下する遊技球を検知可能な第 1 の検知手段と、

前記遊技盤の右側領域に設けられ、特定領域を遊技球が流下したことを検知する第 2 の
検知手段と、

前記第 2 流路部を流下する所定の遊技球が前記第 2 入球手段へ入球し難く前記第 3 入球
手段へ入球することを許容する第 1 状態と、前記第 2 入球手段への入球を許容し前記第 3
入球手段へ入球難い第 2 状態と、に制御される第 1 可動手段と、

前記遊技盤の右側領域に向けて発射された特定の遊技球が前記第 2 入球手段へ入球する
ことを許容する第 3 状態と、前記第 2 入球手段へ入賞し難い第 4 状態と、に制御される第
2 可動手段と、

前記第 1 可動手段及び前記第 2 可動手段を制御する制御手段と、を備え、

前記制御手段は、前記第 1 可動手段と前記第 2 可動手段とを制御することで複数の遊技
状態の間で実行する遊技状態を移行させ、

前記複数の遊技状態は、第 1 遊技状態、第 2 遊技状態、第 3 遊技状態を含み、

前記第 1 遊技状態、前記第 2 遊技状態及び前記第 3 遊技状態は、互いに遊技者に有利な
遊技球の流下経路が異なり、

前記第 2 遊技状態は、前記第 1 の検知手段によって遊技球の流下が検知された場合に遊
技者に有利であり、

前記第 3 遊技状態は、前記第 2 の検知手段によって遊技球の流下が検知された場合に遊
技者に有利であり、

10

20

30

40

50

前記第 1 可動手段と、前記第 2 可動手段は、遊技球が上部を転動可能な転動板部を備え、
前記制御手段は、

前記第 1 遊技状態において遊技者の遊技操作に基づいて前記遊技盤の右側領域に向けた
所定の弾球遊技が実行された場合に、前記第 2 可動手段の前記転動板部の前記上部を遊技
球が転動したとしても、前記転動板部の前記上部を転動した遊技球がその後に前記第 2 入
球手段に入球することがないようにする所定制御手段を備え、

本遊技機は、

前記第 2 可動手段が前記第 3 入球手段の上方に配置されず、

前記第 3 遊技状態において、前記第 2 可動手段が前記第 3 状態から前記第 4 状態に制御
された場合に、前記第 2 可動手段の前記第 3 状態によって前記第 2 入球手段へ誘導途中で
あったが入球することができなかった遊技球がその後に入球可能な第 4 入球手段を備え、

10

前記第 2 可動手段が前記第 3 入球手段の上方に配置されず、

前記第 3 遊技状態において、前記第 2 可動手段が前記第 3 状態から前記第 4 状態に制御
された場合に、前記第 2 可動手段の前記第 3 状態によって前記第 2 入球手段へ誘導途中で
あった遊技球はその後前記第 3 入球手段に入球することがないように構成された

ことを特徴とする遊技機。

20

30

40

50